

監督会各位

2025 年 3 月 2 日 監督会幹事会 平井、一寸木

前略 1/26 日（日）の監督会ご足労いただき、現状のルールのご共有、貴重なご意見を賜り大変ありがとうございました。当日、学連側で持ち帰った懸案事項、3/1（土）に開催された関東学生バドミントン連 盟前期総会にて示された確認事項についてご連絡いたします。

1. 2025 年度より大会エントリーが 2 種目選択制となる件

監督会において関東学連では 2025 年度は全日の決定に伴い、2 種目選択制を導入すると説明がなされました。参加監督より 3 種目参加希望の選手の意向、権利を奪うことにならないか、関東学連として再考するよう要請がありました。これに対し、学連として持ち帰り 25 年 2 月 22 日の全日本学連の総会の結果を踏まえて最終判断をしたいとしてペンディング事項となっていました。

[本題に対する学連の判断と決定の経緯]

2 月 22 日の全日本常任委員会、代議員総会の開催において東西日本インカレ、全日本インカレについては 25 年度より 2 種目選択制を実施。地区大会においては地区学連の判断に委ねるとの決定となりました。これを受けて関東学連で関東選手権の 2 種目選択制導入の可否について学連委員会を開催、検討しました。関東学連として以下の理由で 25 年度 2 種目選択制の導入を判断し、総会にて出席者の意見具申と諾否を諮ることとなりました。

=関東学連が 2 種目選択制を適用する理由=

- ① 全日学連より地区学連の判断に委ねられたが、2026 年度から 2 種目選択制に移行する決定となっていることを踏まえ今年度のみ 3 種目の実施の必要性は低い。
- ② 今年度より **関東選手権で複合（ミックス）において B を新規追加**し、競技レベルを問わず全員が 3 種目から 2 種目を選択できるようになった。
- ③ 現在、関東選手権の体育館（所沢市民体育館 16 面）10 日間確保で 3 種目（②の複合の新設でエントリー数の予測、および試合消化の可否判断が厳しいと判断した。
- ④ 種目の上位進出選手の重複における負荷増加による怪我のリスクとタイムテーブルの過密が懸念される。3/1 前期総会において関東学連より可否が提案されました。総会では 5 分程度の質問と内容把握と意見具申をする検討時間を設けた結果、とくに質問、意見、反対などがなく、関東学連でも 2025 年度より 2 種目選択制を採用することになりました。

2. その他、監督会の説明における補足事項

- 1) 学生ランキングポイントによるシードを64としたが、**ポイントを保有するすべての選手をシードとする。**
- 2) **東西日本インカレの団体戦において3位決定戦を実施する。**ただし、東西いずれかが実施しない場合は、他方の地区も3位決定戦を実施しない。
[補注] 東西インカレで3位決定戦の実施は、東西大学ランキングの3、4位によりインカレの組合せにおいてシードに大きな影響がでる。付帯してシードにおける東西大学ランキングはインカレ団体戦のシードで大きな変更要因となっている。今年度インカレ団体戦の第1シードは、前年の優勝校を輩出した地区ランキング1位の大学が入る。例として24年度男子インカレの優勝校N大学も25年度の東日本インカレにおいて優勝しないと東地区大学ランキング1位とならず、インカレの第1シードを獲得できない。
- 3) 東日本インカレにおいて、**個人戦で参加者数が一定基準(320)を超えた場合、スーパーシード*を適用する。**導入理由の一端として、団体戦の準決勝、決勝の日に個人戦併設されている現状において、団体戦に残っている選手のタイムテーブル上の重複を避け平滑した大会運営を図る。*スーパーシード：ベスト32の選手に対し3回戦を初戦とするシードを適用。
- 4) **東西インカレの複合に出場する選手は、同種目で前年度獲得ポイントがないため、今年度に限ってシングルス、またはダブルスで獲得したポイントを加算する。**ただし、この措置は今年度複合に限っての適用となる。
- 5) **東西インカレ(結果的に全日本インカレ)のペアリングは東西地区内の選手に限定。**される。(東西をまたがったペアリングは行えない。例えば、関東、北海道所属の選手のペアリングなど東、西内でのペアリングは可)

以上